



令和8年度特別展

アンモナイト

～太古の海からのたより～



令和8年

7.11 

▼
9.23 



アンモナイト

～太古の海からのたより～

アンモナイトは、古生代から中生代にかけて地球上に生息した海洋生物です。その種数は実に1万種以上といわれ、多種多様な美しい形は、生命の長い歴史の中で生み出された自然の芸術といえます。単なる美しさだけでなく、地球や生命の歴史を私たちに教えてくれるアンモナイトの化石は、まさに“太古の海からのたより”なのです。本展示では、アンモナイトを様々な切り口から紹介し、その魅力を伝えます。

① アンモナイトってどんな生きもの？

皆さんは「アンモナイト」と聞くと、どのような姿・形を思い浮かべられるでしょうか？本章では、アンモナイトの基本的な体のつくりや、分類上の位置づけについて解説します。



縫合線が美しい
ユーパキディカス



ゴードリセラスの断面

国立科学
博物館蔵

② アンモナイトの生態

絶滅動物であるアンモナイトの生態は、未だに多くの謎に包まれています。本章では、これまでの研究によって明らかになったアンモナイトの生態の一部を紹介します。



アンモナイトのオスとメス？
オエコブチキウス(右)とフリクチセラス(左)

国立科学
博物館蔵



複雑な巻きアンモナイト
ニッポニテス

③ 埼玉県のアンモナイト

海なし県として知られる埼玉県ですが、かつては確かに海がありました。本章では、埼玉県やその周辺から見つかった化石を紹介し、かつて埼玉にあった太古の海について解説します。



埼玉県産のアンモナイト
バレミテス・オオツカイ



2022年に新種として報告された
プロチェロニセラス・ヤジマイ

④ 大集合！世界のアンモナイト

中生代、恐竜と共に大繁栄したアンモナイト。本章では、世界中から集められた中生代の美しいアンモナイトの数々を紹介いたします。



色鮮やかな
スフェノディカス



異常巻きアンモナイト
ディディモセラス

関連イベント ※会場はすべて川の博物館です。★は要事前申込

● アンモナイトのカラフルレプリカを作ろう！

日時 7月20日(月・祝)・9月20日(日)

① 10:00~12:00

② 13:30~15:30

参加費 100円(予約不要)



● 挑戦！アンモナイトの石こうレプリカ作り★

日時 8月2日(日)

① 10:00~12:00

② 13:30~15:30

参加費 500円

定員 各回15名



● 化石の発掘体験★

日時 7月26日(日)

13:30~15:30

参加費 300円

定員 各回15名



● アンモナイトのシーリングシールづくり★

日時 7月29日(水)~7月31日(金)

10:30~13:00

参加費 200円 定員 各回20名

● 展示解説

日時 7月12日(日)・8月30日(日)

① 11:30~ ② 14:00~

● 樹脂粘土でアンモナイトづくり★

日時 8月26日(水)・9月6日(日)

① 10:30~12:00

② 13:30~15:00

参加費 200円 定員 各回6名



〒369-1217 埼玉県大里郡寄居町小園39
TEL: 048-581-7333 FAX: 048-581-7332

● 開館時間：9:00~17:00(開館時間延長日あり)

● 休館日：7月・8月無休

9月7日(月)、8日(火)、14日(月)

● 入場料：一般410円(240円) 学生200円(120円)

※()内は団体料金

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方は無料

● 駐車料金：普通車300円 バス1,030円

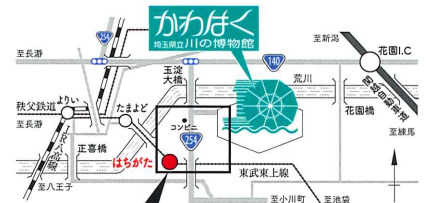
特別展サテライトスロープ展示

化石でたどる 埼玉3億年の海

県内各地から発見された海の生物の化石をいくつかの時代に分けて紹介し、埼玉の“失われた海”とその移り変わりについて解説します。

期間 6月26日(金)~9月27日(日)

場所 第1展示室



X @kawashirou

IG @kawashirou